

建設長崎大運動会

開催のお知らせ

とき 平成30年10月21日(日)
午前10時開会
ところ 琴海中部運動公園

建設長崎

September No.639

2018年9月15日

1部20円 組合員の購読料は組合費に含まれます
印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者●田上一郎 編集人●若杉孝雄

諫早市要請

地元業者の育成・支援と
活力のもてる賃金を

八月二十二日(水)十一時から、諫早市役所市長応接室にて、諫早市長に対し要請しました。

市側からは宮本市長他六名、組合・協会からは船津委員長、北村会長他十二名が出席。
始めに北村会長から宮本市長へ要請書を手渡し、要請書の趣旨を説明。宮本市長はあいさつで「要請事項については、十分理解してまた、要請内容に対して



▲諫早市役所 市長応接室 全体18名

中小建設業者への工事発注と処遇改善を強く要望!

魅力ある建設産業のために

八月二十二日(水)午前十時から、県央振興局長に対し要請行動を行いました。
県央振興局長から嶋田局長他六名、組合・協会から船津委員長、北村会長他二十二名が出席。

八月二十二日(水)午前十時から回答を頂きました。
要請内容については「県政全般に渡るもので地方機関では具体的に回答できるものは少ないと思うが、今年度管内では五、六千万円の予算が配分されている。要望を踏まえたいので、対応できるものは対応していきたい。」

県央振興局要請

技能者・入職者確保には
適切な賃金と処遇改善を

「現場の技能者の確保が厳しい」という情報が入っており、それを踏まえて意見交換ができればと思っている」と回答。これに対し、船津委員長は、「技能に見合った賃金を確保しないと若い人は魅力を感じない。国が進めている週休二日制もある程度賃金アップが必要となる



▲県央振興局会議室 全体28名



▲嶋田局長へ要望書を手渡し
船津委員長と北村協会長

間目標名 平成三十四年度
年拡大目標 400
組織拡大の取り組み

年間目標四〇〇名
建設長崎第七十三回定期大会で、平成三十年度の組織拡大年間目標を四〇〇名として取り組む事が決定されました。

三年連続で純増
昨年度は加入者数が四二三名と年間目標の四〇〇名を達成することができました。同時に年間三十五名の増加となり、三年連続で組織純増をすることができました。

加入年齢で見ると十代から三十代の青年層加入者が半数を超え、四十代まで含めると約八割となっています。加入目的では「長建国保」と「労災保険」が全体の八割に上っています。

前期拡大目標設定
年間拡大目標の達成に向けて、前期拡大期間を六月から十一月までの六カ月間とし、組合全体の前期目標を二〇〇名として取り組む事が決定されました。また、各支部の前期目標も設定されました。

Table with 4 columns: Branch Name, Target, Branch Name, Target. Total target is 200.

仕事への誇りを守るために組織を
大きくしよう!

「数は力」仲間の数を増やして影響力を高め要求実現につなげましょう。

多くの仲間の皆さんの協力(紹介)が必要です!
組合員さん一人ひとりが持つ日常のつながりを拡大に活かしてください。

組合が大きくなれば、魅力・メリットも
充実・発展!

長建国保や共済など組合の事業は、数が増えれば充実・発展につながります。

未加入仲間の紹介で拡大目標の達成を!

各支部大会開催

延べ八三九名参加!

建設長崎第七十三回定期大会を受け、八月二十日開催の佐世保北支部大会を皮切りに、各支部大会が開催されました。
平成二十九年度の経過・決算報告、三十年度の方針・予算の提案、新役員の決定が行われ、新体制がスタートしました。

中央支部

開催日 八月二十三日(木)
参加者 四十四名
支部長 本多 常秋
副支部長 馬渡 鉄洋
〃 山口 龍志
〃 西村 忠光
〃 福田 修
書記長 古井 宏樹

市南支部

開催日 九月三日(月)
参加者 四十五名
支部長 小宮 清治
副支部長 山下 洋二
〃 小泉 雄義
〃 中島 善明
〃 山崎 昌晴
〃 一ノ瀬 崇
書記長 江頭 孝一

浦上東支部

開催日 八月二十七日(月)
参加者 四十四名
支部長 田崎 順一
副支部長 野口 耕平
〃 森 政一
〃 松田 隆人
書記長 若杉 孝雄

西彼支部

開催日 九月十一日(火)
参加者 七十四名
支部長 岩崎喜三郎
副支部長 井手 保
〃 山中 茂
〃 中尾 豊
〃 尾崎 光生
書記長 森 一公

島原支部

開催日 九月十三日(木)
参加者 三十九名
支部長 山田 哲夫
副支部長 本田 岩勝
〃 城 祐輔
〃 川田 照重
〃 松田 年市
〃 木之田亮二
〃 小嶺 栄助
書記長 牛島 貴裕

佐世保中央支部

開催日 九月十四日(金)
参加者 七十一名
支部長 富野 喜吉
副支部長 本田 英樹
〃 大島 吉博
〃 川原 清俊
〃 大水 幸生
書記長 井関 一幸

浦上西支部

開催日 八月三十一日(金)
参加者 七十三名
支部長 佐藤 昭彦
副支部長 村岡 広明
〃 平出 壽夫
〃 木下 広次
〃 山崎 司
〃 山形 信
〃 下川 孝貴
書記長 松園 俊輔

諫早支部

開催日 八月二十九日(水)
参加者 六十四名
支部長 木下 忠朗
副支部長 中村 太司
〃 後田 博幸
〃 林 崇
〃 山崎 貞博
〃 藤原 保弘
書記長 大賀 修司

大村支部

開催日 八月二十四日(金)
参加者 六十六名
支部長 中尾 政男
副支部長 一瀬 純男
〃 川田 洋一
〃 津上 章司
〃 金水 誠
〃 松野 隆志
担当 山本祐一郎

大浦支部

開催日 九月四日(火)
参加者 三十五名
支部長 北村 五男
副支部長 平山 正則
〃 鳥田 時治
〃 古里 一紀
〃 宮副 辰則
書記長 古井 宏樹

東長崎支部

開催日 九月五日(水)
参加者 四十四名
支部長 里 澄宏
副支部長 山村 篤司
〃 尾上 正範
〃 本村美喜男
〃 本田 勇
担当 徳永 輝斗

佐世保北支部

開催日 八月二十日(月)
参加者 六十名
支部長 小林 健治
副支部長 福田 栄治
〃 柚元 美則
〃 松尾 正明
〃 松山 新二
書記長 小野 猛範

佐世保東支部

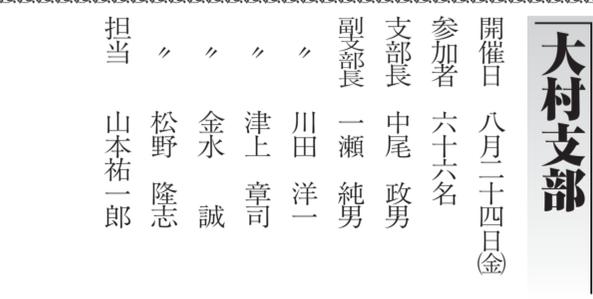
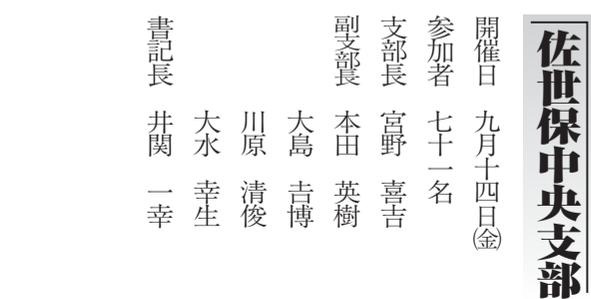
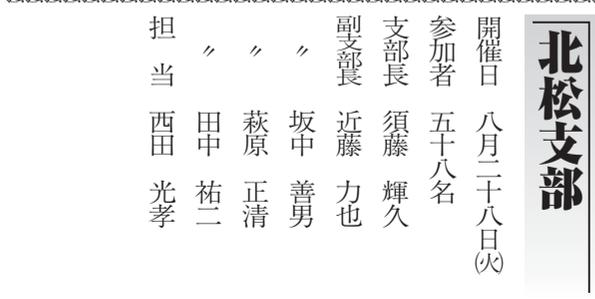
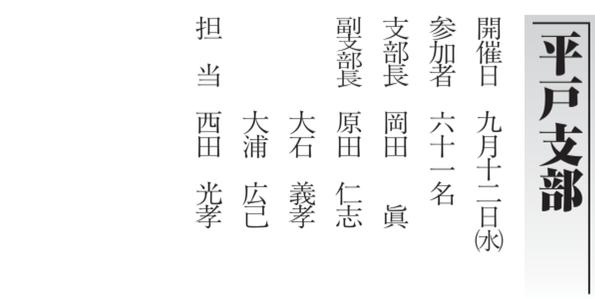
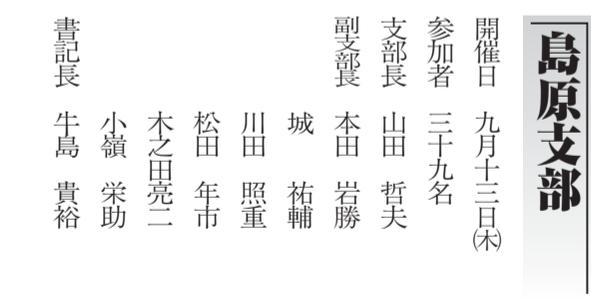
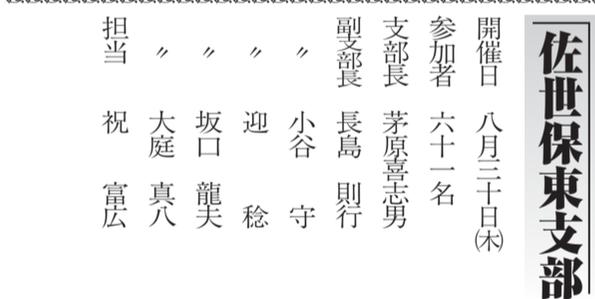
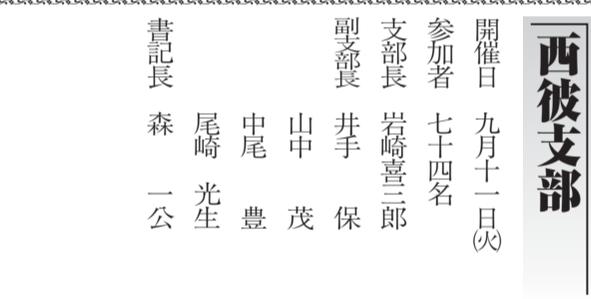
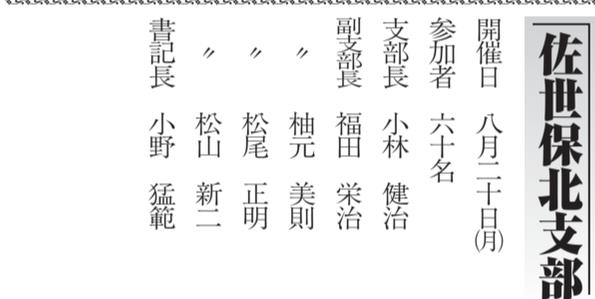
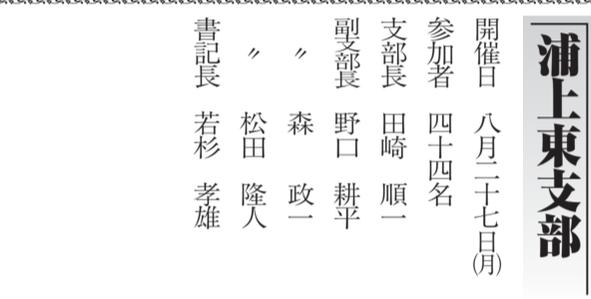
開催日 八月二十日(木)
参加者 六十一名
支部長 茅原喜志男
副支部長 長島 則行
〃 小谷 守
〃 迎 稔
〃 坂口 龍夫
〃 大庭 真八
担当 祝 富広

平戸支部

開催日 九月十二日(水)
参加者 六十一名
支部長 岡田 眞
副支部長 原田 仁志
〃 大石 義孝
〃 大浦 広巳
担当 西田 光孝

北松支部

開催日 八月二十八日(火)
参加者 五十八名
支部長 須藤 輝久
副支部長 近藤 力也
〃 坂中 善男
〃 萩原 正清
〃 田中 祐二
担当 西田 光孝



反戦・世界恒久平和

核兵器廃絶の実現を願う

被爆七十二周年 原爆殉難者慰霊祭

慰霊碑建立三十年の節目を迎える 全国より約十萬羽の折鶴献納

建設長崎は被爆七十二周年建設労働者・職人原爆殉難者慰霊祭を八月八日、長崎市原爆公園内の「不戦平和の塔」前で開催。全建総連をはじめ十県連組合から九十七人が参列し、核のない平和な社会の実現をめざして祈りました。

原爆が投下された午前十一時〇二分に、参列者全員で原爆犠牲者に対して黙禱

を捧げた後、全建総連の勝野書記長、広島建労の岩田執行委員長、建設長崎の北村執行委員長がそれぞれ献花を行いました。

続いて、長崎県下十五支部と全国各地より集められた名水の献水。二十八県連組合より平和への祈りを込めて折られた折鶴九九、七四四羽の献納が各県連の代表により行われました。



慰霊の言葉では、全建総連の勝野書記長は「私たちの建設業は平和産業であり、全建総連の旗のもと結集する六十二万人の仲間は、全ての人類が平和で、戦争や核の脅威に怯えずに暮らすことができる未来を築くことが出来る未来を築くため、平和憲法を守る運動を進める」と述べました。建設長崎の船津執行委員長は「今年、全建総連の仲間により長崎と広島に慰霊碑が建立されて三十年の節目を迎えます。世界中に存在する核兵器や原発が有する破壊力や放射能は、生命を将来にわたって脅かす存在です。私達は、人類と核は共存できないという一貫した立場で、被爆の実相を風化させることなく、平和主義を守るため核兵器廃絶・世界恒久平和の実現を訴え続けて参ります」と平和へのメッセージを述べました。

最後に、参列者一人一人が白菊の献花を行い、原爆犠牲者の御霊のご冥福を祈りました。



平和への祈りを込め献納された折鶴

建設長崎 「不戦平和の塔」碑文

原爆殉難者慰霊塔の

建立にあたって

昭和二十年八月九日 十一時二分、長崎は摂氏三千度を超える熱線、秒速五〇〇米の爆風、炎うずまく地獄の中に、人も家も焼きつくされました。

あの日、多くの建設労働者職人は、微用で狩り出され、街の強制疎開の建物撤去作業や魚雷艇づくりなどに強制就労させられるなかで、尊い生命を奪われました。

あの苦しみ、あの怒り、あの悲しみを私達は、決して忘れることはできません。そして、世界のいかなる国のいかなる人類の上にも二度と繰り返させてはなりません。

被爆四十三年、今ここに全国の建設労働者職人の総意により、原爆殉難者を慰霊し、平和と核廃絶のため闘う証として、不戦平和の塔を建立いたしました。

御魂よ、安らかに眠りください。

昭和六十二年八月八日
全建設労働組合総連合
長崎県建設産業労働組合

全建総連・広島建労共催 広島原爆慰霊祭



「原爆犠牲建設労働者・職人の碑第三十一回慰霊祭」が八月五日に広島平和記念公園の慰霊碑前で開催されました。全国から一七四名の多くの仲間が集まり、慰霊碑に折鶴や名水を献納献水されました。建設長崎からは、船津委員長、北村顧問、主婦会から浦上東支部の森さん、川口さんの二名が参列し原爆犠牲者の御

霊に祈りを捧げました。午後からは、全建総連職人のつどいが開催され、碑めぐりガイドのリーダー新谷美樹子さんより三十年の平和活動についての講演がありました。最後に核兵器の廃絶と平和憲法の理念を唯一の戦争被爆国である日本から世界へ広めていくと訴え、閉会しました。

浦上川万灯流し

流れる灯り、平和への祈りをこめて

二年ぶりの開催 万灯約一、〇五〇個

長崎原爆の日の八月九日、続々と訪れ、そのひとつひ長崎市内の組合員・主婦会とつを組合員さん達が井形にお集まりいただき、長崎に据え付け、ろうそくに灯りをともし川に浮かべていきます。

日が落ちて暗くなった頃、万灯を乗せ一列に繋がれた井形は、ゆっくり浦上川を下っていきました。淡く光る灯籠の灯りに、殉難者への追悼の想いと、平和への祈りを込めて、流れていく灯籠の光を見送りました。

午後五時から道板と棧木で井形を作り、午後七時頃になると爆心地公園で集会を終えた地元の子供達が平和へのメッセージやイラストが描かれた万灯を手に



各々が作った万灯を手に川辺に訪れる地域の方々

西彼支部 初出場ながら、見事に優勝!!



▲選手に応援者に感謝

西彼支部では、去る八月五日(日)に開催された長与町ペーロン大会に初出場し、強豪チームの裕翔(西そのぎ商工会青年部)、長崎大学、長与町役場などをおさえて見事優勝することが出来た。暑さの中、仕事の後の練習に耐え抜き、西彼支部の長与・時津・琴海の各分会の若者たちが職人魂を一本の権に込め、一丸となって船を漕いだ結果の初出場・初優勝でした。

特に、昨年、県のペーロン大会に長与チームの主将として出場した西彼支部組員の有川祐太君が各種団体の誘いを断り、建設長崎・西彼支部チーム一本で出場してくれたことを大変嬉しく思いました。

今回、出場の際に必要なとなった費用は、歴代の本部役員の皆様、西彼支部役員、組合員の有志の皆様や、今回の趣旨にご賛同頂きました地域の協力店の皆様の寄付金で対応させて頂くことが出来ました。本当にありがとうございます。

組合員の方々へ活力の一助となることができれば幸いです。

(尾崎光生)

西彼支部では、去る八月五日(日)に開催された長与町ペーロン大会に初出場し、強豪チームの裕翔(西そのぎ商工会青年部)、長崎大学、長与町役場などをおさえて見事優勝することが出来た。

支部だより

諫早支部 明治維新を満喫した二日間

明け方までの豪雨と大型台風の進路を気にしながら九月二日(日)、支部旅行を開きました。今年例年より若干日程を繰り上げての開催となりましたが、ギリギリ大型



▲西郷どん 大河ドラマ館にて

行き先は、今年「明治維新一〇〇年」で大河ドラマのロケ地鹿児島とあって長い道中となりましたが、車内はいつも以上にお酒が進み楽しく賑やかな移動となりました。お昼過ぎ鹿児島へ到着。最初の見学地である仙巖園へ。万治元年(一六五八年)に十九代島津久光によって築かれた別邸は桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた広大な庭園で見事でした。次に維新ふるさと館では明治維新までの道のりをドラマで学習し、ホテルへ。

大浦支部 酷暑の中、一〇一本の包丁を研ぎあげる



▲夏まつりで建設長崎をアピール

八月十八日(土)の正午から、ンドで住宅デーを開催し、戸町夏祭りの協賛イベントとして、戸町中学校グラウンドとして、戸町の準備が終了後、北

中央支部 西山分会 スノコ販売 大好評

九月二日(日)西山分会では西山公民館をお借りして住宅デーを開催。前日の悪天候が嘘のように青空が広がる快晴となり絶好の住宅

九月二日(日)西山分会では西山公民館をお借りして住宅デーを開催。前日の悪天候が嘘のように青空が広がる快晴となり絶好の住宅



▲一本一本丁寧に



▲お客さんの要望に応じながら作成

村支部長から、「土曜日のお忙しい中に参加頂いたこと、暑い中での作業に對して、十分に水分を取って熱中症にならないように気を付けて頂くように」とのあいさつ。その後、十六名の参加者全員で昼食を取り、真夏の太陽が照りつける会場で、「無料包丁とき」を行いました。

浦上西・東支部 主婦会 捏ねて♪捏ねて♪ 饅頭作りで皆笑顔



▲浦上西・東支部のエプロン姿のお姉さん達

浦上西・東支部主婦会は、八月二日に饅頭作りを九人のメンバーで行いました。外はぎらぎらと太陽が照り返す中、朝九時からエプロン姿のお姉さんが、腕をたくしあげ「捏ねて♪捏ねて♪また捏ねて♪」生地が柔らかくなるまで捏ねあげる。鼻歌(唄)をまじえないとやっつけられない。この効果が出たのがふつ

れ、組合さんも待っています。したとばかりに、持ち込まれた包丁やまな板を新品のように仕上げていきました。スノコ販売では、大きさや、お盆を過ぎ若干暑さも和らいだものの、まだまだ暑い中での作業でしたが、自治会の方が冷たい麦茶などの飲み物をご準備してください、会場に訪れたお客さんと、組合さん達の喉を潤してくれました。

- 《参加者》敬称略
- 北村 五男 平山 正則
 - 鳥田 時治 田上 義高
 - 小野 義龍 工藤 是正
 - 北 学 松尾 哲夫
 - 松山 力男 春尾 末吉
 - 竹崎 初男 小淵 禮子
 - 鳥田 愛子 山下キミエ
 - 北村すみ子 松本のぶよ
 - 松津委員長 石田書記長

(山形マズ子)